

2018年12月21日

説明資料：第4回SAJUフォーラムについて

武内進一(東京外国語大学現代アフリカ地域研究センター長)

森尾貴広(筑波大学国際室)

1. フォーラムの概要

- (1) 開催日：2019年5月23日(木)～24日(金)
- (2) 開催場所：Future Africa Campus, University of Pretoria
- (3) 目的：共同研究、学生・教員・研究者交流、学生の共同指導を含む日本と南アフリカの大学・研究者間の学術交流の促進。特に、共同研究をはじめとする具体的な学術交流のマッチングを目指す。
- (4) 形式：第3回SAJUフォーラムの「学長会議」形式とは異なり、**研究発表を中心とした「学術セミナー」形式**で行う。“**The human being in the 21st Century in the context of global changes**”を統一テーマに、下記3つのテーマでの研究発表(研究成果・展望・共同研究のアイデア等)を行う。
 1. **Health and wellness** 想定される分野：medical science, public health, sports, arts, culture, education, transportation, city planning, and area studies.
 2. **Security and social justice** 想定される分野：food security, water security, agriculture, environment, clean energy, ecology, citizenship, resource management, poverty reduction, area studies, and politics.
 3. **Growth, exploration and conservation** 想定される分野：economics, business science, natural sciences, development, heritage, area studies; and politics.

加えて、大学間交流および共同研究支援の枠組み、具体的な交流プログラムに関する情報交換、協議の場として **Technical session** を行う。また、フォーラムの前(21日～22日)にアカデミック・スタディツアー、フォーラム終了後にプレトリア、ジョハネスバーグ周辺でのツアーが企画されている。

2. 実施体制

南アフリカ側

- Universities South Africa (USAf)
- Centre for Japanese Studies (CJS) at the University of Pretoria
- National Research Foundation (NRF)
- 在南アフリカ日本大使館

日本側

- 東京外国語大学現代アフリカ地域研究センター African Studies Centre (ASC) at the Tokyo University of Foreign Studies (TUFS) (事務局)
- 日本・アフリカ大学連携ネットワーク Japan-Africa Academic Network (JAAN) (協力)

これに加えて文部科学省、外務省、JSPS、JST、JICA、在日南アフリカ大使館、国立大学協会等が後援、協力として参画することが期待される。

研究発表のプログラム編成に関しては、各テーマに対し日本側 2 名、南アフリカ側 2 名の世話人を割当て、3 テーマ合わせて日本側 6 名、南アフリカ側 6 名の世話人からなる **Academic Committee** を組織して実施する。日本側世話人はこれまで南アフリカとの学術交流および SAJU フォーラムに関わってきた研究者に依頼の予定（候補者はリストアップ済み）。

南アフリカ側の関係者間でほぼ毎月 **Planning Meeting** を実施している。日本側は TV 会議での参加あるいはメールでインプットを行っている。

3. 費用負担

フォーラムの開催費用は南アフリカ側が負担する。日本側として組織的な財政的貢献は想定されていない。参加者は各々の旅費・滞在費を負担する。

4. 進捗状況

サーキュラー（Call for papers）を発出。発表要旨締め切りは 2019 年 1 月 31 日。

以上。